

CBT 試験の概要

1. 学習内容

CBT 試験になったからといって、各問題の本質的な内容は変化しないので、対策学習自体には大きな影響はありません。

2. 試験の予約

申込みは、インターネットのみで受付しています。プロメトリック株式会社のページにアクセスし、予約を行ってください。必ず午前試験から予約することになっており、このときに受験料の支払いなどを行います。午前試験と午後試験は別々に予約することになり、試験期間内であれば午前試験と午後試験を別々の日に受験することができます。

試験期間内で試験会場の希望日の希望時間帯に空きがあれば、予約できます。このとき、予約する時間帯の枠は45分単位で用意されていますので、2時間半の場合は「連続した4枠」を確保する必要があります。ただし、試験会場は一部を除いて「基本情報技術者試験」専用ではない会場がほとんどです。そこで、他の試験の受験者も同時に予約してくるため、のんびりしていると会場に「連続した4枠」の空きがなくなる可能性もあります(空きがないと試験を受けられなくなることがあります)。ですから、

早めに予約

してください。東京や大阪のように試験会場の数が多い都道府県は空きのある会場・時間帯を見つけやすいと思われますが、会場の少ない都道府県の方は、特に注意してください。とにかく

早めに予約

するようにしてください。

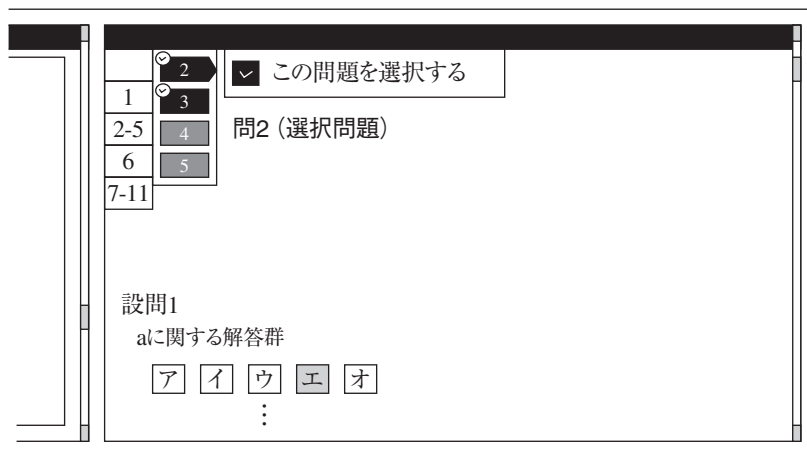
3. 午後試験の選択問題を選択する方法

2021年下期の本試験より、選択方法が変わりました。右の画面の左上に、i, 1, 2-5, 6, 7-11のいずれかを選ぶボタンがあります。それぞれ、次の内容を表します。

- i : インフォメーション画面
- 1 : 問1 セキュリティ (必須)
- 2-5 : 問2～問5 選択問題 (2問を選択)
- 6 : 問6 データ構造とアルゴリズム (必須)
- 7-11 : 問7～問11 プログラム言語及び表計算 (1問を選択)

例えば、2-5をクリックすると、その右に問2～問5の各問題を表示するためのボタンが表示されます。次の図は、問2と問3を選んだ例を示しています。

問題選択の方法



問2～問5の各問題の右画面に、

「この問題を選択する」

というチェックボックスがありますので、選択する場合は、そこをクリックしてください。選択すると問番号のボタンにマークがつきますので、自分が選んだ問題を確認することができます。

なお変更する場合は、選んだ問題を開いて「この問題を選択する」を再度クリックしてチェックを外してから、新しい問題を開きチェックし直してください。

4. 試験終了時の選択した問題の確認画面

試験終了時に、以下のような画面が表示されます。

確認画面のイメージ

確認

2-5

問2
問4

7-11

問11

✓ 試験を終了する

× 戻る

ここで、終了する前に「自分が選んだ問題が正しいか」をしっかりと確認してください。正しくない場合やもう一度内容を確認したい場合は、「戻る」ボタンをクリックして、変更や確認をしましょう。

5. 問題の解き方

ここでは、午後試験を取り上げます。CBT試験の午後試験の画面イメージを、以下に示します。

画面構成のイメージ

問題

設問1
aの選択肢
ア イ ウ エ オ
bの選択肢
ア イ ウ エ
設問2
⋮

解答欄

このように画面の左半分に表示された問題を解くのは、やはりペーパー試験とは異なる点があるので、CBT方式で受験するにあたっての留意点を以下に記しておきます。

●書込みが不可なので、ハイライトの十分な活用を

すべて画面上の問題文や図表を読み解く形になります。このため、従来の問題冊子を読み解く時のように

- ・大事な部分にアンダーラインを引く
- ・重要な用語を丸で囲む
- ・メモ書きをする

などの、冊子への書き込みという手法を用いることができません。

そこで、まずはハイライトをうまく利用しましょう。問題文を読んでいく中で、重要な用語や文章が出てきたら、ハイライトをつけてください。例えば、

- ・条件や場合分け
- ・現状の問題点やその原因
- ・計算に使用されると思われる数値
- ・計算内容を説明した文章や、計算式そのもの
- ・怪しい記述

などを見つけたら、積極的にハイライトをつけていきましょう。

●配布されたメモ用紙を活用する

メモ用紙とシャープペンシルが用意されますので、

- ・重要な用語や文章を、メモ用紙に書き出して記録しておく
- ・図の一部を抜き出したり、自分で図解してみたりすることで整理する
- ・プログラムの一部や大まかな流れをメモ用紙に書いてみる
- ・気付いた点や注意点などは、とにかくメモ用紙に書いて記録しておく

といったように、手をしっかりと動かしながら内容を整理していくことが重要になってきます。また、メモ用紙に記録することで、ページを移動させずに確認できる、見直しのときに役に立つ、といった効果も期待できます。

●マウス操作、スクロールには慣れておこう

午後問題は1問が数ページにわたっており、ページをスクロールさせながら何度もいったりきたりすることになります。普段からPCを使い慣れている人であれば大きな問題はありませんが、普段スマートフォンだけしか使っていないと、慣れない操作で思わぬ焦りにつながってしまうかもしれません。

そのような方は、できるだけ事前にPCに触れ、PDFファイルを閲覧するような機会を増やしておきましょう。

●午後問題はページ数が多いので、サムネイルやページ番号の入力などによるページ移動を活用する

設問文とそのヒントとなる問題文や図表が離れている場合、スクロールによって交互に見比べる必要があります。しかし、数ページ離れている場合、けっこう面倒な作業になり、ミスを引き起こす可能性もあります。

そこで、サムネイルなどを利用するとよいでしょう。問題画面の左上のボタンをクリックすると、ページごとのサムネイル(小さな画面イメージ)が左側に縦に並んで表示されます。サムネイルならばワンクリックで該当ページを開けますので、スクロールよりもストレスなくページ移動できます。

また、問題画面の上でページ番号を入力したり、“<”及び“>”のボタンをクリックしたりすることで移動させることもできます。ご自分の使いやすい方法を活用して、問題文の確認をしましょう。

●選択肢に×をつける機能を活用する

マウスの右クリックで、選択肢に“×”をつけることができます。解答群の中で、明らかに誤りであると判断したものには、すかさず“×”をつけて候補から外してしまいましょう。消去法を使用するときにも役に立ちますし、選び間違いのミスを減らす効果もあります。

●ズーム機能を利用する

問題文や表の文字が見つらいときは、画面左上のズームボタン“+”，“-”を利用して、大きくしたり戻したりすることができます。うまく活用しましょう。

なお、午前試験・午後試験の各画面の詳細、及び試験日の受付や受験時の注意などについては、プロメトリック株式会社のページの「試験当日の流れ」を参照して、必ず確認しておいてください。

6. PC を利用した演習

本試験の受験が近づいてきたら、本試験問題のPDFなどを用いて、PCを用いた演習をしてみるとよいでしょう。画面に試験のPDFを表示させ、メモ用紙を用意し、画面を見ながら解く練習をします。過去の本試験問題と解答のPDFは、IPAの情報処理技術者試験のサイトで以下のURLのページからダウンロードできます。

https://www.jitec.ipa.go.jp/1_04hanni_sukiru/_index_mondai.html

7. ITパスポート試験のCBT疑似体験ソフトウェア

IPAの情報処理技術者試験のサイトのITパスポート試験のページに、「CBT疑似体験ソフトウェア」がダウンロードできます。もちろん、基本情報技術者とは形式が少し違うのですが、PCを用いて「午前試験」を解くうえでのシミュレーションができます。IPとはいえFEと同レベルの問題も多々ありますので、問題演習しながらCBT体験をしてみてもいいかもしれません。

記載の内容は、2022年4月現在の内容です。今後変更となる場合がありますので、受験の際はご自身で必ず最新の情報をご確認ください。